

見出しに頭ひねる

渡津小で
新聞教室

江津

江津市渡津町の渡津小学
校で4日、新聞の作り方や

読み方を学ぶ授業があっ
た。6年生13人が、山陰中



エヌ・アイ・イー

教育に新聞を

央新報社の講師から記事の
まとめ方を教わり、見出し
付けに挑戦した。

児童は、山陰中央新報社
の清水由紀子NIE担当の
講義で、第1段落(リード)
で全体の概要をまとめ、第
2段落以降の本文で詳しく



新聞作りの基礎知識を学
び、見出し付けに挑戦す
る児童たち

説明することや、記事には
内容を10文字前後に要約し
た「見出し」を付けること
など、新聞の文章の仕組み
を会得した。

取材や執筆、見出し付け
の各段階で「いつ、どこで、
誰が、何を、なぜ、どのよ
うに・どうした」の「5W
1H」が重要になると説明
を受け、実際に記事の見出
しを考えた。

記事の基本構造を知った
後は、新聞の読み方も学習。
重要なニュースは1面に掲
載され、見出しやリードを
拾い読みするだけでも幅広
い情報を効率的に得ること
ができると学んだ。

熊谷恒河君(11)は「自分
は一枚の新聞を作るのにす
ごく時間がかかるけど、新
聞社はこれだけのニュース
を毎日発信しているのだす
ごいと思った」と話した。

